

[https://faculty.toho-u.ac.jp/portal/hp/shinsai/ampi\\_kakunin.html](https://faculty.toho-u.ac.jp/portal/hp/shinsai/ampi_kakunin.html)

特定非営利活動法人日本医学図書館協会

## 平成 23 年度 第 82 回総会分科会プログラム

共催：日本薬学図書館協議会

日時：平成 23 年 9 月 10 日（土）

場所：日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-6（お台場）

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

日程：

9:30 受付開始

10:20 オリエンテーション

10:30 午前の部

分科会 A（第 1 部） 及び 分科会 B

12:00 昼食・休憩

13:30 午後の部

分科会 A（第 2 部） 及び 分科会 C

15:00 終了

この分科会は JMLA ヘルスサイエンス情報専門員認定資格のポイント対象（2 ポイント／半日）となります。

### 会 場

分科会 A 「みらい CAN ホール」

分科会 B 及び C 「会議室 2」

# 各分科会のご案内

## 分科会A. 会場：みらいCANホール

### 【テーマ】オンラインリソースのゆくえ

#### 【要旨】

医学系図書館は、電子資料の導入にいち早く対応し、積極的に提供してきた結果、いまや電子ジャーナル抜きではサービスは成り立たない。しかし、現在と同様のサービスを将来においても維持することを保証できる図書館は、多くはないであろう。その理由として、本分科会では、「雑誌価格高騰の影響をストレートに受ける今のコンソーシアムモデルの将来性」と「KindleやiPadなどのヒットを受けて電子配信が進む中での国内学術資料の電子化の遅れ」に注目した。

これらの課題を基点に、オンラインリソースのゆくえを考える機会としたい。第1部では、異なる国、異なる職務の方に、それぞれ現状分析と自らが考える課題について発表をしてもらう。続く第2部では、シンポジウム形式で発表者と会場とで意見交換をする。

当分科会の最終目的は、分科会としてオンラインリソースに関する提言をまとめることとする。

#### 【座長】

谷澤滋生(東邦大学習志野メディアセンター)

#### 【話題提供】

1. Norman Frankel (Licensing@NormanFrankel.com 社長, Chicago Collaborative 委員)

「演題：未定（米国コンソーシアム事情）」

2. 尾城孝一（大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）事務局，国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長）

「演題：未定（コンソーシアム事情）」

3. 金原 優（医書出版協会代表理事，医学書院社長）

「演題：未定（電子出版事情）」

4. 橋元博樹（東京大学出版会販売部長，大学出版部協会営業部会長，日本出版学会学術出版研究部会部会長）

「演題：未定（電子出版事情）」

5. 日本の研究者（利用者代表）：交渉中

「演題：未定」

## 分科会 B. 会場：会議室 2

### 【テーマ】専門分野の図書館員の能力開発プログラムは今

#### 【要 旨】

保健医療分野の図書館では、医療専門職に対して、より高度な知識と技能を要するサービスが求められる一方で、一般の方の情報ニーズにも対応が求められるようになってきた。しかし図書館の労働環境の変化に伴い、図書館員の専門的知識とスキルにばらつきが見られるようになってきた。非営利活動法人日本医学図書館協会（以下、協会）では、これらの問題を改善し、高度化・広範化する情報ニーズに対応できる知識・技能・資質を備えた人材を育成するために、専門職能力開発プログラムの整備に取り組んでいる。しかしこの取り組みは緒についたばかりであり、解決すべき課題は多い。そこで協会の現状として、先に実施した調査結果をもとに作成した教育プログラム案を報告するとともに、他分野の図書館における専門職能力開発プログラムの事例をうかがい、ディスカッションを行って、今後の協会におけるプログラム整備の参考とする。

#### 【座 長】

（未定．交渉中）

#### 【話題提供】

1. 岩隈道洋（杏林大学総合政策学部准教授 法学）  
「法コンシェルジュ養成講座コアカリキュラムについて」
2. 秋本 敏（ふじみ野市立上福岡図書館，日本図書館協会認定司書事業委員会）  
「日本図書館協会認定司書 第1回認定事業を終えて」
3. 諏訪部直子（杏林大学医学図書館 NPO 法人日本医学図書館協会専門職能力開発プログラム推進委員会委員長）  
「日本医学図書館協会の専門職能力開発プログラムカリキュラム案」

## 分科会 C. 会場：会議室 2

### 【テーマ】「NIIを知ろう：病院図書館のNII参加に向けて」

#### 【要 旨】

2010年4月にスタートした国立情報学研究所（NII）の Shibboleth による学術認証システム（学認：GakuNin）の概要を学ぶ。学術認証フェデレーションとは、学術 e-リソースを利用する大学、学術 e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体のことである。各機関はフェデレーションが定めた規程（ポリシー）を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現し、学内でのシングルサインオン（一つの ID・パスワードであらゆるシステムが利用可能であること）を実現することが可能になるとともに、他大学や商用のサービスに

においても、1つのパスワードを利用し、かつID・パスワードの再入力を行わずに利用できる環境を実現することができる。今回は、提供元NIIによる概要の紹介に加え、すでに参加している図書館からも事例報告をしていただく。また、病院図書館でなかなか進んでいないNACSIS-ILLについても参加機関から具体的な準備やその効果を報告いただく。

**【座 長】**

安田多香子（愛知県がんセンター図書室）

**【話題提供】**

1. 阿藤品治夫（国立情報学研究所）

「初心者でもわかる学術認証システム－Shibboleth（シボレス）と学術認証フェデレーション－」

2. 大谷 裕（東邦大学医学メディアセンター）

「『学認』に参加して（事例報告）」

3. 奥出麻里（JFE健康保険組合川鉄千葉病院図書室）

「NACSIS-ILLに参加して（事例報告）」

どの分科会にも自由に参加できます。